

まえばし 農業委員会だより

No. 105
2025. 1



年頭のごあいさつ



前橋市農業委員会
会長 澁澤 聖一

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

前橋市農業委員会は一昨年7月に新体制となり、任期の折り返しを迎えているところですが、継続して農業委員、農地利用最適化推進委員が相互に連携し、農地制度の適正な執行、農地利用の最適化を推進しております。特に、昨年は「地域計画」の策定に向けた「目標地図」の作成にあたり、委員が中心となって各地区で検討を重ねてまいりました。3月には「地域計画」が策定される見込みとなっております。ご協力いただきました地域の皆様、農業者、農業関係機関の皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

昨今の社会情勢や、気候変動の影響により、農業を取り巻く環境はますます厳しさを増しておりますが、この「地域計画」が策定されることにより、前橋の将来の農業の姿が明確になり、次世代に引き継いでいくことが可能となります。近年の本市の新規就農者は毎年20名を超えておりますので、引き続き「農業をするなら前橋で！」と新規参入を促進するとともに、農業者を応援できるような取り組みを進めてまいりたいと考えております。

今後とも地域農業の発展に向けて委員会一丸となつて尽力していく所存でございますので、変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げます。本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

農業の将来を見据えた地域計画

現在、目指すべき将来の農地利用を明確化する「地域計画」策定に向けて、地区ごとに10年後の農業を担う方を明確にする「目標地図(素案)」を作成しています。

昨年中は、複数回にわたり市内12地区において農業委員と農地利用最適化推進委員が中心となって、地元農業者やJA、土地改良区の代表等を集めて地区別検討会を開催しました。

南橋地区の検討会で議長を務めた藤井農地利用最適化推進委員は、「いろいろな意見があるのでまとめるのは難しかった」と苦労を話していました。

今後、目標地図を含めた「地域計画」は、令和7年3月末までに策定・公告を行います。しかし、策定して終わりではなく随時更新、進捗管理をしていくこととし、農業の未来について引き続き考えていきます。

南橋地区での話し合いの様子⇒





いちご購入全国1位!
日本一のいちごのまちから、
甘さと元気をお届けします

問い合わせ

伊藤園芸いちごハウス
前橋市上大屋町5-39
(予約要) 090-2232-4613 又は
027-283-1115

関東中古農機具センター

買取 農業機械など
買取いたします!
ご相談ください

見積無料 **出張無料**

前橋市天川大島1370-2
新潟公安委員会第461170001241号

027-289-4224

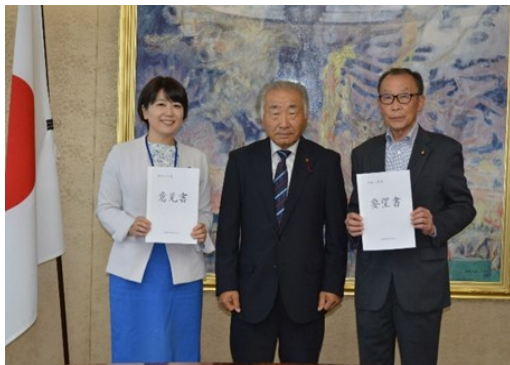
広告

広告に関する質問については、広告スポンサーに直接お問い合わせください。

活 動 報 告

☆市長に意見書・議長に要望書を提出☆

意見書を小川市長（写真左）に、要望書を笠原議長（写真右）に提出した蒔澤農業委員長



前橋市農業委員会では、昨年の10月1日、令和7年度前橋市農業施策等に関する意見書を小川市長に、同趣旨の要望書を笠原市議会議長に提出しました。

- 1 施設園芸農家に対する支援の継続について
- 2 耕作放棄地対策と農地政策について
- 3 有害鳥獣対策について
- 4 農業残渣処理に係る費用助成について
- 5 前橋市内における食料自給率向上（地産地消）について

詳しくはホームページをご覧ください。



☆農業委員会先進地視察研修☆

令和6年11月25日～26日に農業委員・農地利用最適化推進委員27名は、「スマート農業」「六次産業化」をテーマに新潟県で視察研修を実施しました。

スマートアグリ長岡



スマート農業についての座学や次世代園芸施設の見学、スマート農業機器の操作体験を行いました。写真は農業用ドローンの操作体験です。

農プロデュースリッツ



六次産業化プランナーで代表取締役の新谷梨恵子氏から取り組みについてお話を伺いました。

参加者の感想

今後の農業における課題解決に向けた方策を考えていくなかで、刺激を受けました。大変参考になり有意義な視察研修でした。

☆タブレット端末を使用した農地パトロール☆

農地利用最適化推進委員が8月に農地パトロールを実施しました。農地の利用状況を把握し遊休農地の実態把握と発生防止・解消を目的としています。今後の農地パトロールの手法を検討するため、試験的に一部の地区でタブレット端末を使用して調査を行いました。山田農地利用最適化推進委員は、「タブレット端末は初めてだったが、使いやすいと思う。最初は慣れるのが大変かもしれないが、みんなが使えるようになればもっと便利になる。」と話していました。農地パトロール結果を基に、現状と課題を把握し、利用可能な農地は担い手に繋げる取り組みを進めていきます。



全国農業新聞 を読もう！

● 毎週金曜日発行
● 月額700円（税込み）

申込みは農業委員・農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局へお気軽にご連絡ください。
☎ 027-898-6732

保護活動 わんこにゃんことシアワセになる

サポーター募集中

前橋近郊で活動中
仲間になりませんか

- ミルクボランティア
- 一時預かり
- 買い物や送り迎え
- 支援サポーター

いぬねこ組
inunekoclass@gmail.com

広告

広告に関する質問については、広告スポンサーにお直接問い合わせください。



いま、注目の人！—新規就農者（吉田哲馬さん）—



吉田さんは現在37歳で、理学療法士から転職し、農業を始めて2年目になります。11年間理学療法士として働いていましたが、農業を始めたいと考えた理由について伺いました。「県外の医療・介護の現場で長く勤務していましたが、いずれ地元に戻り、人の役に立ちたいという思いがありました。自分でチャレンジできる経営や管理に興味があったこと、子どもの頃、祖父の農業を手伝っていたことが農業を始めるきっかけとなりました。農業をするうえでも地域で活動することは大好きで、情報をもらったり人の縁に助けをもらうことも多いです。」とのことで地域を大切にしている気持ちが伝わってきました。

現在は、ナス、ネギをメインとし、他にもズッキーニなどを栽培していますが、年によって作物や栽培量は変えています。「どこまでどれくらいできるかというのは

やってみないとわからないですし、失敗したと思うこともあります。今後に繋げていくこともできますから。また、家族（奥様と娘さん4人）のために農業を頑張ることができます。」と話します。現在はパート従業員を雇っていますが、将来的には正社員を雇えるほど成長し法人化を目指しています。その背景には、「農業が経営として成り立つことを証明し、農業を職業として選択する人が増えてほしい。」という熱い気持ちがありました。

最後に、農業を始めたいと思っている人へのメッセージを伺ったところ、「天候に左右されるなどきついことも多いので、それに耐えられるかどうか。また、農業の知識だけでなく仕事として稼いでいくには経営者の視点が必要。」と大変な面を述べられた一方、「想像どおりの厳しさはあるものの、農業は地域貢献ができるやりがいがある仕事。いずれ新規就農者の支援もしていきたい。」と笑顔で話してくださいました。今回の取材は、編集委員の阿久津会長職務代理者と関農業委員にも同行いただきました。お二人からは、「将来のビジョンが明確で、吉田さんの言葉から明るい未来が感じられてとてもうれしい気持ちになりました。頑張ってください。」とエールが送られました。



【早生宮内菜】

前橋のレジェンド野菜（宮内菜）

前橋在住の宮内禎一さんが選抜育種し開発したかき菜は、昭和47年に品種登録され【宮内菜】と名付けられました。宮内菜の特徴は食味がよく、3月～5月にかけて分枝性が強く多く収穫できることです。そのため、開発当初から春を味わう野菜として大変重宝されました。今でもたくさんの家庭菜園で作付されており、市場出荷をされている方もいます。宮内菜は全国的に知られていますが、前橋農業の隠れた実力者かもしれません。

宮内さんは、宮内菜が品種登録された後も探求を続け、令和5年に【早生宮内菜】を17年かけて開発し新たに品種登録しました。宮内菜は春先の野菜が少ない時期に収穫できることが特徴ですが、早生宮内菜はさらに早く、作物が育ちにくい1月、2月においても出荷が可能です。宮内さんは「宮内菜を皆さんにもっと知ってもらってぜひ食べてほしい。」とおっしゃっていました。



宮内さんご夫婦と
宮内菜の苗

有限会社 松島農園

チーズ工房 Three Brown

ブラウンスイス牛のミルク 100%
チーズ&ジェラート

春夏秋冬 少量多品目栽培
野菜の販売

＜販売日＞
日曜・水曜
第2 & 第4の土曜・月末の土曜
10:00 ~ 16:00

〒371-0201 前橋市粕川町中之沢 384-96
☎027-257-8052

花壇用花苗なら

阿久津園芸

自治会、公園、企業等...
県内20カ所以上の花壇を彩っています。
配達も致します。お気軽にご相談ください♪

〒371-0215 前橋市粕川町深津454-2
TEL・FAX 027-285-6006

広告

広告に関する質問については、広告スポンサーに直接お問い合わせください。



お知らせ



☆多面的機能支払交付金制度

地域共同で行う農地周り・水路・農道の草刈り、泥上げ、農業用施設の軽微な補修や農村環境保全のための共同活動を支援します。



☆中山間地域等直接支払交付金制度

傾斜地が多いなど農業生産条件が不利な地域で、農地の保全、耕作放棄地の発生防止等の活動を支援します。



詳しくは農村整備課へお問い合わせください。

農村整備課 ☎ 027-898-6713

無断農地転用は違反です！

農地を農地以外に使用するためには、たとえ自分が所有する農地でも農地法の規定に基づく農地転用許可手続きが必要となります。

許可を受けず無断で農地転用した場合は原状回復命令や罰則が科せられることがありますので注意しましょう。

※農地を無断で駐車場や資材置き場にすることも違反です。

水田の畦畔の管理をしましょう！

農地に雑草が繁茂すると火災や不法投棄、野生鳥獣の住処、病害虫の発生の原因となります。

また、水田の畦畔から伸びた雑草が通行を妨げたり、見通しを悪くしていることがあります。その結果、交通事故を誘発したり、近隣住民に迷惑がかかることもあります。



農地の所有者・耕作者は、畦畔を含めた農地の適正な管理をお願いします。

☆知って得する農業者年金☆

次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

国民年金1号
被保険者

年間60日以上
農業に従事

65歳未満
(60歳以上は条件あり)

現在の自分



保険料

積み立て



年金

将来の自分

農業者年金は積立方式、確定拠出型の**終身年金**。
さらに**大きな節税効果**があります！

問合せ：農業委員会事務局
☎ 027-898-6733



農業者年金基金
ホームページ



前橋市では昨年度16名が新規加入し、独立行政法人農業者年金基金より女性新規加入者数全国第5位の表彰を受けました！

農業者のみなさん！
リスクへの備えはできていますか？

農業保険がサポートします!!

農業保険は国の公的保険制度で、
保険料（掛金）の国庫補助があります。



群馬県農業共済組合 中央支所 ☎ 027-254-2070

農業用
ハウス
をお持ちなら

園芸施設共済に加入しましょう！

万が一に備え「園芸施設共済」への加入をご検討ください。
自然災害により園芸用ハウスが被害を受けた際に共済金をお支払いします。
随時、説明及び見積りを受け付けております、お気軽にお問い合わせください。

様々な
リスクに
備えるなら

農業収入保険に加入しましょう！

青色申告を行っている農業者が対象です。
全ての農産物を対象に、自然災害や価格低下だけでなく、農業者の経営努力では避けられない収入減少を広く補償します。

広告

広告に関する質問等につきましては、広告スポンサーに直接お問い合わせください。

編集・企画／前橋市農業委員会・前橋市農業委員会編集委員会

発行／前橋市農業委員会編集委員会 〒371-8601 前橋市大手町二丁目12番1号 ☎ 027-898-6732

